

令和7年度 青梅市立若草小学校 学力向上推進プラン

《青梅市学力向上5カ年計画》

「継続 定着 追究」 ～勉強好き、青梅好きな子の育成～

【本校の児童の実態と課題】

- 素直で、優しく、真面目である。
- 指示されたことに対して、一生懸命に取り組む。
- 自分で創出するより、手本や見本があったり、友達と相談できたりすると安心する。
- 友達と協力して学び合うことができる。
- △自分で判断したり、主体的に活動したりすることが苦手である。
- △基礎的・基本的な知識・技能の定着が二極化している。
- △家庭学習が自ら学ぶ意欲の向上につながっていない。

「豊かな学びの場」を創る学校

学ぶ意欲を高め、力の付く授業を行うことで、主体的に学びに向かう児童を育成する。

- わ わくわく学ぶ (学びに向かう力)
- か 関わりの中で学ぶ (思考力・判断力・表現力)
- く エ夫して学ぶ (思考力・判断力・表現力)
- さ 最後まであきらめずに継続して学ぶ (知識・技能 学びに向かう力)

【授業改善の取組】

- 学ぶ意欲のわく授業
 - ・GT(ゲストティーチャー)による授業
 - ・直接体験を重視した授業
- 一人一台端末を活用した多様な授業づくり
- 振り返りを基にした学習課題の設定

【個に応じた指導の充実】

- 算数科習熟度別指導(全学年)
- ステップアップクラスの実施(4年生以上で実施)
- 教科担任制の実施
- 「スタートカリキュラム」の充実

【家庭学習の推進】

- 家庭学習の目的を保護者に周知
- 児童の個々の学びに合わせた自主学習の励行
- 中学校の定期考査に合わせた家庭学習強化週間の設定

《学力向上のための重点目標》

- 1 児童の主体性を引き出す授業改善を行う。
- 2 体験的・発展的な学習活動を充実させる。
- 3 ICT 機器を活用した、効果的な学習を進める。

1 令和6年度 全国学力・学習状況調査より(参考)

① 国語・算数 (平均正答率)

	若草小	東京都	全国
国語	60	70	67.7
算数	55	68	63.4

② 質問紙

- 「国語の勉強は好きか」 当てはまる・どちらかといえば当てはまる … 68%
- 「算数の勉強は好きか」 当てはまる・どちらかといえば当てはまる … 43.1%
- 「国語の授業の内容はよく分かるか」 当てはまる・どちらかといえば当てはまる … 84.7%
- 「算数の授業の内容はよく分かるか」 当てはまる・どちらかといえば当てはまる … 76.4%
- 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うか」 当てはまる・どちらかといえば当てはまる … 70.8%
- 「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができているか」
できている・どちらかといえばできている … 79.2%

【調査結果からの分析】

- 令和6年度全国学力・学習状況調査の平均回答率からでは、国語・算数ともに、全国、東京都を下回っている。
- 国語や算数において、「内容はよく分かる」と大概の児童が答えているが、「好きである」と答える児童は、ぐんと減っている。
- 友達と学び合ったり、自分で学び方を工夫したりするなど学ぶ意欲が見られる。



児童が「楽しい」「おもしろい」と思うような意欲のわく授業を展開する

2 育成すべき資質・能力を育むための具体的な取組

育成すべき資質・能力	取り組みの方向性	具体的な取組
学びに向かう力、人間性等 ・どのように社会、世界と関わり、よりよい人生を送るか	① 主体性を引き出す授業改善 ② 青梅のよさを生かした教育の推進 ③ 思いやりの育成	① 校内研究の充実 授業を見合う取組 ② 青梅学の推進(校外学習の充実・御岳移動教室・系統化) ② 特別活動の充実
知識及び技能 ・何を理解しているか、何ができるか	① 個に応じた指導の充実 ② 子供の学びの場の充実 ③ 家庭学習の定着および充実	① ステップアップクラスの活用 一人一台端末を活用した指導 ② 直接体験を重視した教育活動の充実 ③ 自分に合った自主学習の啓発
思考力、判断力、表現力等 ・理解していること、できることをどう使うか	① 授業改善の推進 ② 思考力、判断力、表現力を育成する機会の充実 ③ 子供の可能性を伸長する場の充実	① 学ぶ意欲のわく授業の充実 ゲストティーチャーの活用 ② アプリを活用した発表の場の設定 ③ 課題をもち、調べる学習活動の推進